

JAIF 事業について（最終報告）

2017 年 11 月

1. APEN : Asia Professional Education Network とは

- ・2011 年 6 月に、AIIT を事務局とする AIIT 監督下の国際組織である APEN を設立。
- ・目的は、アジア地域における産業コミュニティの発展に貢献すること (ICBM (Industrial Community Building Measures : 産業コミュニティ醸成措置) と いう独自の概念を構築し、その概念に基づく活動を行っている。)。
- ・ASEAN 各国及び日中韓印の各主要大学等が参加 (19 大学、13 組織)。
- ・毎年理事会を開催するとともに、中小企業ミッションの派遣、各種セミナー等を開催。
- ・メンバー対象国は、当面の間は、ASEAN10 か国と日中韓印の 14 か国に限定 (第 7 回理事会決定)。

（1）経緯

- ・APEN は、2015 年 3 月に総額約 100 万ドルの JAIF 事業 (* 1) を ASEAN 事務局から受託。2015 年 6 月から 2 年間のプロジェクトを推進し、2017 年 9 月に終了した。

* 1 : JAIF : 日本政府が ASEAN に拠出した資金をもとに運用される、ASEAN 事務局が認定する ASEAN の発展に資する事業に対する委託金。

（2）事業内容

- ・マルチバーシティ (Multiversity) (*) 事業と、中小企業格付制度である CIS (Credibility Index for SMEs) 事業の 2 本立て。

* : 「マルチバーシティ」とは、「ユニ (uni) バーシティ」を多角化したもの、という意味の、APEN による造語。

- ・マルチバーシティ事業とは、日本型の高度産業人材育成システム（典型的には高専、実務系大学院等）において提供されている教育内容を ASEAN 各国の教育制度に即した形で導入するためのフィージビリティ調査事業。

* : 背景は、高専の教育内容に ASEAN 各国は高い関心を持っているものの、高専の「制度」を各国の教育制度として全面的に導入することは、学校教育法の特例法の制定が必要であるため不可能であることが判明。このため、高専等において提供されている教育内容を、

ASEAN 各国の学校教育法を改正することなく導入することの可能性を調査することとなつたもの。

- ・ CIS 事業とは、技術力、人材力、経営力、マーケティング力、組織力、ファイナンス力の 6 軸で評価する、APEN 独自の新たな中小企業格付制度について、 ASEAN 各国の実情に即したシステムの構築（ローカライゼーション）と、それに基づく試行的格付の実施事業。

* : ASEAN は 2015 年末に経済統合を行ったため、今後は中小企業の海外直接投資の増大が見込まれる。また日本等先進国の中小企業の ASEAN 諸国への直接投資も進む。これらの場合に、中小企業の格付けは重要な効果を持つものの、既存の格付の大半は社債の格付であり、ファイナンス部門のみに特化したものであることが問題であった。これに対して CIS は、中小企業の真価を正確に判断するために、 6 軸による総合的な評価を実施するところに価値がある。

（3）事業の実施

- ・ 以下のように、各国でセミナーを開催

2016 年 5 月（マニラ）：キックオフ全体会合

2016 年 5 月（東京）：マルチバーシティ・セミナー

2016 年 7 月（KL）：マルチバーシティ・セミナー

2016 年 10 月（マニラ）：中小企業格付セミナー

2016 年 10 月（ハノイ）：中小企業格付セミナー、マルチバーシティ・セミナー

2016 年 11 月（バンダル・スリ・ブガワン）：マルチバーシティ・セミナー

2017 年 1 月（ビエンチャン）：中小企業格付セミナー

2017 年 1 月（プノンペン）：中小企業格付セミナー

2017 年 3 月（バンدون）：中小企業格付セミナー、マルチバーシティ・セミナー

2017 年 5 月（バンدون）：取りまとめ全体会合

（4）事業実施結果

期間：平成 27 年 6 月から 2 年間

予算：968,404 U S \$ (約 1 億 943 万円) (1 \$ = 113 円 H29.10.31 時点)

成果物として JAIF Final Report (I, II, III) を 500 部製作し、参加大学・関係機関等に送付。

（5）期待される今後の展開

- ・ 第 7 回 APEN 理事会において、マルチバーシティ事業及び CIS 事業の双方について、一層の発展を推進すること、及び成果に関する普及啓発事業を行うことを決定。

- ・マルチバーシティ事業については、APEN メンバー各大学におけるマルチバーシティの実装を推進するとともに、システムの考え方について、ASEAN 内で進む NQF (National Qualification Framework) の統合 (AQF : ASEAN Qualification Framework) における実務系高等教育のあり方の議論に貢献することが期待される。
- ・CIS 事業については、ASEAN 各国における格付の推進とともに、CIS によって明確となる各中小企業の弱点に対するコンサルテーションの実施、及び各國の中小企業全体の弱点に対する政策的対応の議論に貢献することが期待される。